

講演：データサイエンスとビジネス



【講演概要】

企業が直面する膨大なデータの活用が競争優位性にどうつながるかという問題意識でデータサイエンス、AI を捉える。データサイエンスがビジネスでどのように使われているかの事例を紹介し、AI の進化で、何ができるようになったのか、何ができないのかを解説する。さらに、米国のビジネススクールで人気のある、ビジネスアナリティクスの修士課程では何が教えられているかを概観し、今、日本のビジネス教育で何が必要かを論じる。

【講演者略歴】

松尾 博文(岡山商科大学教授、神戸大学名誉教授、神戸大学経済経営研究所リサーチフェロー)

1984 年 MIT 経営学研究科博士課程オペレーションズリサーチ専攻修了後、テキサス大学オースチン校ビジネススクール経営学科助教授、准教授、教授、Fred H. Moore Centennial Professorship in International Management、1999 年より、筑波大学社会工学系教授を経て、2004 年より、神戸大学大学院経営学研究科教授。専門はオペレーション管理。サプライチェーン・マネジメントの学術研究論文多数。Operations Research, Management Science 等の編集委員を歴任。現在、オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会論文誌の編集委員長。